

イスラエル経済月報（2020年11月）

在イスラエル日本国大使館（担当：経済班 栗田 宗樹）

<目次>

イスラエルの動き（主な報道）	2
主要経済指標.....	7
1. 経済成長率（GDP）	
2. 貿易(Export & Import of Goods)	
3. 失業率（Unemployment Rate）	
4. 消費者物価指数（CPI）	
5. 金融政策（Monetary Policy）	
6. 為替（Exchange Rate）	
7. 外貨準備高（Foreign Reserve）	
8. 主要株価推移（TA35）	
イスラエル 経済関係.....	12
ハイテク コロナ禍にもかかわらず、イスラエルのプログラマーの平均給与は1万ドルに近づく	
日本-イスラエル 経済関係.....	13
ベンチャー投資 オリックスがイスラエルの大手 VC OurCrowd に投資、第二位株主に	
インシュアテック 三井住友海上が Direct Insurance - Financial Investments 社に投資、共同ラボを設置	
技術探索 イスラエル・スタートアップとの連携に向け、NTT データと SOMPO が連携	
デジタルヘルス サンリオピューロランドが開園維持のために Binah.ai 社の技術を一部活用	
小売 セブン-イレブンがイスラエル進出の可能性	
新事業創出 イグニション・ポイントが AnD Ventures と連携	
イスラエルにおける展示会・国際会議等の予定（目次掲載は主要なもののみ）	19
スタートアップ 2021 OURCROWD GLOBAL INVESTOR SUMMIT（2021年3月9日、エルサレム）	
NEW サイバーセキュリティ CYBERTECH GLOBAL IN DUBAI（2021年4月5～7日、ドバイ）	
バイオ MIXIII BIOMED（2021年5月11～13日、テルアビブ）	
日本におけるイスラエル関連イベントの今後の予定（目次掲載は主要なもののみ） ..	25
サイバーセキュリティ Cybertechlive TOKYO 2020（2020年12月15日、オンライン）	

※本資料は、報道や政府発表、企業発表等の一般公表情報を基に作成しております。

イスラエルの動き（主な報道）

（出典：報道）

- 1 日 Start-Up Nation Central によると、イスラエルのスタートアップは 10 月 8 億ドルを資金調達。年初から 10 か月の累計調達額は 88 億ドルで、既に前年全体を上回る。
- 1 日 政府研究所のイスラエル生物科学研究所が開発する新型コロナウイルス・ワクチン Brilfe の人への治験第 I 相が開始。来夏の上市を目指す。
- 2 日 中央統計局の発表によると、10 月前半の広義の失業率（失業者＋無休休暇＋3 月以降失業し求職していない者）が 22.7%、937,500 人に達した。
- 2 日 イスラエルが UAE への果物・野菜の輸出承認を得たと農業・農村開発省が発表。
- 2 日 NY・中国・テルアビブで投資を行う Arieli Capital が中国の複合企業招商局集団及び三亜市と、海洋技術のイノベーションセンター設立に関する協力契約に署名。
- 2 日 イスラエルの大学 IDC Herzliya がキプロスに the Pafos Innovation Institute を設立。大学院の学位が取得可能。水資源管理、エネルギー、起業等について研究。
- 2 日 Cybereason 社の研究者が、北朝鮮によるマルウェアの欧米日韓露の民間・公的機関への攻撃を確認したと発表。
- 3 日 三井住友海上火災保険とイスラエルのダイレクト保険 IDI Insurance 社がイスラエルにイノベーションハブを設立。インシュアテック分野のスタートアップを探索。
- 3 日 データ・分析企業 Dun & Bradstreet Israel 社によると、今年のイスラエルの倒産件数は 8～8.5 万件になると推計。過去 10 年では年間 3.7～4.5 万件ほど。
- 3 日 インドとイスラエルが、農業・食品分野で新技術による所得向上のためのセンター・オブ・エクセレンスを 1 億ルピー（約 135 万ドル）規模でアッサム州に設立。
- 4 日 インテルが、イスラエルの機械学習プラットフォーム開発 Cnvr.io 社を買収した。金額は非開示だが、同社の最終資金調達時における評価額は 1,700 万ドル。
- 4 日 イスラエルの VC 10D（前 Ofek Ventures）が、シードとシリーズ A 向けのファンドに 1.1 億ドルを調達したと発表。既に 6 件の投資を実行済み。
- 4 日 ベングリオン大学の技術移転機関 BGN Technologies 社が、ポルトガルのプラスチックリサイクル ECOIBÉRIA 社と、PET のバクテリア生分解での研究提携を発表。
- 5 日 10 月時点で、12 か月間での財政赤字が対 GDP 比 10.1%に拡大したと財務省が発表。年初からの赤字額は 1,227 億 NIS で、前年同期比 224%増。
- 5 日 イスラエルの医療機器企業 Hospitech Respiration 社が、中国 AwakeZone 社と、人口呼吸器患者の合併症を軽減する医療機器の開発に向け、合併企業を設立。
- 5 日 情報筋によると、イスラエル航空の買収に、Amnon Mesilot Group の Amnon Sela 氏が参戦。
- 6 日 9～10 月に売上が 25%以上減少した小規模事業者に対する 30 万 NIS（8.8 万ドル）の助成金申請受付を開始したと、国税庁が発表。
- 8 日 イスラエルの走行車両への無線給電企業 ElectReon 社が、イタリアで同国インフラ企業 Societa' di Progetto Brebemi SpA 社と実証事業を開始すると発表。

- 9日 イスラエルのモバイルネットワーク効率化企業 Cellwize 社が 3,200 万ドルを資金調達。インテルとクアルコムがリードし、サムスンの CVC 等も参加。
- 9日 イスラエルの排泄物分析スタートアップ OutSense 社がシリーズ A で 220 万ドルを調達。便器に取り付ける器具で便潜血や尿路感染症等を検知する技術を開発。
- 9日 ロックダウンにもかかわらず、イスラエルの 10 月の新車販売が前年比 4.1%増。
- 10日 イスラエルの VC Peregrine Ventures がグロース・ステージのライフサイエンス企業に投資する新ファンドを 1.01 億ドルでファーストクローズ。3 億ドルを目指す。
- 10日 イスラエルの燃料電池企業 GenCell 社が、テルアビブ証券取引所に新規上場を申請。評価額 1.8 億ドルで 6,000 万ドルの資金調達を目指す。2011 年設立。
- 11日 ハイファ旧港の民営化入札に向け、船舶設計の Israel Shipyards 社が UAE の港湾管理会社 Dubai World Port 社と提携。
- 11日 情報筋によると、米テスラがイスラエルの電力貯蔵プロジェクトに応札する準備を進めており、複数のイスラエル企業と協議を進めている。
- 11日 情報筋によると、Snapchat を運営する米国 SNS 企業 Snap 社が、イスラエルの音声 bot スタートアップ Voca.ai 社を買収した。7,000 万ドル規模と見られる。
- 11日 イスラエルのサイバーセキュリティ企業 SentinelOne 社が、評価額 30 億ドル以上で 2.67 億ドルを資金調達。2 月の調達ラウンドから、評価額を 3 倍にした。
- 12日 エイラット及び死海のホテル営業再開を認める法律が可決。あわせてレストラン等の営業再開も許可。これら地域への入域には 72 時間前の PCR 検査が必要。
- 12日 イスラエルの顧客サービス改善企業 KMS Lighthouse 社が、同業の Reys AI 社を買収。金額は 2,000 万ドルとみられる。前者は従業員 90 名、後者は 10 名。
- 12日 イスラエル人が創業し北米に拠点を置く EV カーシェアサービス Envoy 社が 1,100 万ドルのエクイティ投資と 7,000 万ドルの借入で資金調達。投資はロイヤル・ダッチ・シェルが CVC と米国 Building Ventures がリードし、デンソーも参加。
- 15日 格付機関 S&P がイスラエルの外貨建てソブリン格付を AA-、アウトルックを安定で据置き。政府赤字拡大にもかかわらず、経済の頑健性や金融政策の柔軟性を評価。
- 15日 レヴァイアサン天然ガス田の排出基準違反で、環境保護省がシェブロンに 378 万ドルの罰金を科した。買収前の Noble Energy 社時代の違反を含むと見られる。
- 15日 関係省庁のチームがレクリエーション用大麻使用の解禁を認めたと司法相が発表。今後法制化を経て、21 歳から自宅及び特別店舗での使用が解禁される見込み。
※日本では大麻取締法において、大麻の所持・譲受（購入を含む）等については違法とされ、処罰の対象となっています。この規定は日本国内のみならず、海外において行われた場合であっても適用されることがありますので、十分注意願います。
- 15日 イスラエルの AI スポーツ映像開発 WSC Sports Technologies 社が中国テンセントと 3 年間の提携を発表。主として中国市場向けの新たな映像サービスを開発する。
- 15日 イスラエル人が創業したカナダの無人飛行機システム企業 SkyX 社が、イスラエルに 50 名規模の R&D 拠点を設立する。ソフトウェアと画像プロセッシング分野で。
- 16日 2021 年末にイスラエルで 2 人目の宇宙飛行士が誕生すると、リヴリン大統領が発表。起業家で元空軍パイロットの Eitan Stibbe 氏。来年 SpaceX で ISS に向かう。

- 17日 NTT データと SOMPO がイスラエル・スタートアップとの連携に向けて連携。両社共同で、PoC 実施に向けたイスラエル企業からの提案を募集する。
- 17日 国家インフラ委員会は、エルサレム・ベルシェバ・ハイファ・テルアビブを最速時速 250km で結ぶ高速鉄道網計画の第一段階を承認。2040 年完成を目指す。
- 17日 エネルギー省が 2020~30 年の省エネ計画を発表。15 年比で 30 年までに 17%排出削減を公約とする。閣議決定及び予算割当てに向け、今後政府内で議論される。
- 17日 米メディア CNBC が選ぶ破壊的イノベーション企業 50 選に、イスラエルから Neteera Technologies 社、Lemonade 社、Healthy.io 社等 5 社が選ばれた。
- 18日 エコノミスト紙が、生活費が高い世界の都市ランキング 2020 年版を発表。パリ・チューリッヒ・香港が 1 位で、テルアビブは大阪とともに 5 位にランクイン。
- 18日 中央銀行の Amir Yaron 総裁は、このままでは 2023 年の対 GDP の政府債務比率が 87%になり、格付維持には 2022 年からの予算カットが必要との見解を示した。
- 18日 イスラエルの VC Maniv Mobility が UAE の e スクーターサービス Fenix 社に 380 万ドルをシード投資。イスラエル VC の UAE スタートアップへの初投資となる。
- 18日 シェアライド（相乗り）の場合のタクシー料金を 20~50%下げることで、運輸・道路安全相とタクシー運転手・タクシーアプリ企業が合意。来年から実施予定。
- 19日 IMF が、公表した最新のレポートで、イスラエルによる新型コロナウイルスへの対応を評価。経済損失は他国よりも小さいと分析。
- 19日 エル・アル航空と UAE 第 2 位のエティハド航空が、コードシェア、ポイントの相互利用、メンテナンスと貨物便での協力等に関する MOU を締結。
- 19日 大臣級民営化委員会が、イスラエル最大の国有企業の防衛・航空企業イスラエル航空工業（IAI）の民営化を承認。株式の 49%をテルアビブ証券取引所に上場する。
- 19日 イスラエル最大の太陽光発電所（300ha 超）の入札が公示。入札参加資格事前審査（PQ）では様々な国の 27 のコンソーシアムが関心を表明している。
- 19日 イスラエルの決済詐欺防止 Forter 社がラウンド E で 1.25 億ドルを資金調達。米 VC Bessemer Venture Partners 等がリード。評価額 13 億ドルでユニコーン企業に。
- 19日 イスラエルのスタートアップ AI21 Labs 社がラウンド A で 2,500 万ドルを資金調達。文章をカジュアルなものやフォーマルなものに書き換えられる AI を開発。
- 19日 イスラエルの速記テクノロジー企業 Verbit Software 社がラウンド C で 6,000 万ドルを資金調達。米 VC Sapphire Ventures がリード。
- 19日 イスラエルの投資家向けポートフォリオ管理システム企業 BondIT 社が、独の AI 投資分析企業 Scorable 社を買収。評価額 1,200~1,600 万ドルとみられる。
- 20日 オリックスがイスラエルの大手 VC OurCrowd 本体に 6,000 万ドルを出資。持分比率 10%で創業者に次ぐ第 2 位の株主となる。
- 21日 イスラエル最大手 Hapoalim 銀行が Dubai International Financial Center(DIFC) と金融サービスでの協力で提携。
- 21日 中国の生命科学分野特化の VC RunYoung Technology Transfer Center が、イスラエルの同分野のアーリーステージのスタートアップに投資する 5,000 万ドルのファンドを組成。イスラエル人が運営し、既に 3 社に投資済み。
- 21日 米国の VC Ibox Investors が、イスラエル投資用 2 号ファンドを 1 億ドルで組成。

- 22日 イスラエル政府は、医療専門職の移民の資格を早期承認することを決定。これまで数年を要した資格認定を迅速化し、新型コロナウイルス禍における即戦力とする。
- 22日 民営化・上場が予定されるイスラエル航空工業（IAI）の株式は米国の投資家に売却できない見込み。米国での訴訟を懸念した関係者が拒否。
- 22日 イスラエルのヘルスケア特化 VC aMoon とスイスの製薬企業ロッシュが、デジタルヘルス企業に投資する共同アクセラレーション・プログラムを開始。
- 23日 エル・アル航空は、12月13日からテルアビブ-ドバイ便を週14便運航すると発表。UAE エティハド航空は、東アジアに接続するテルアビブ-アブダビ便を3月から運航すると発表。一方で、エル・アル航空は従業員の無給休暇を年末まで延長。
- 23日 匿名の情報筋によると、中国の企業コンソーシアム Yinniu Microelectronics がイスラエルのファブレス半導体企業 Inuitive 社に1.06億ドルを投資。コンソーシアムの構成企業は不明。Inuitive 社は3Dイメージング領域に強みを持つ。
- 24日 三井住友海上火災保険が、イスラエル人が創業した米国インシュアテック企業 Hippo 社に3.5億ドルを投資。
- 24日 情報筋によると、グーグルがイスラエル-サウジアラビア間に光ファイバーネットワークを敷設することを計画中。インドと欧州を結ぶケーブル計画の一環。
- 24日 セールスフォースのCVCが、米国投資会社 General Atlantic 社がリードするイスラエル・スタートアップ AppsFlyer 社の2.1億ドルの投資ラウンドに参加。推定評価額は20億ドル。デジタルキャンペーンの効果进行分析・測定するツールを開発。
- 24日 イスラエルのドローン・スタートアップ Percepto 社が、ラウンドBで4,500万ドルを資金調達。米国 Boston Dynaics 社との提携も発表。
- 24日 開発のバグを検知するオープンソース・プラットフォーム開発のイスラエル企業 Logz.io 社が、ラウンドEで2,300万ドルを資金調達。Pitango Growth がリード。
- 24日 イスラエルのPEファンド Fortissimo が、イスラエル航空の株式90%を1.5億NISで買収する提案を同社に提出。
- 24日 マスタカードが発表した女性起業家指数2020でイスラエルが初の1位。昨年4位から向上。米、スイス、NZが続く。
- 25日 アブダビの金融センター Abu Dhabi Global Market (ADGM) がイスラエル証券庁及びイスラエル最大手 Hapoalim 銀行と、フィンテック支援のMOUを締結。
- 25日 スマホのカメラで各種バイタルデータを取れる技術を開発するイスラエル・スタートアップ Binah.ai 社が、独の保険会社 Generali Deutschland 社と提携。
- 25日 テスラは2021年下半期からEVをイスラエルで販売する準備を進めている。元々は今年上半期を目指していたが、政府からの許可取得とコロナ禍で遅れている。
- 25日 SavorEat 社がテルアビブ証券取引所初となるフードテック企業として新規上場。ヘブライ大発の技術を基に、代替肉の原料やロボットによる成型等の技術を開発。
- 26日 テルアビブ LRT とメトロをてがける Metropolitan Mass Transit System 社が、LRT やメトロ、鉄道、バスのハブとなる7大交通ハブの設計入札を公示。
- 26日 エル・アル航空新CEO指名。元空軍パイロットで、エネルギー企業 Delek Group に勤めていた Avigal Soreq 氏。1月就任。第3四半期は1.47億ドルの赤字。

- 26日 英国 NPO British Council が在イスラエル英国大使館及びイスラエル科学技術省と運営する The Wohl Clean Growth Alliance が、食料・水・エネルギー分野でのクリーンな成長に資する両国連携案件を支援する事業を開始。
- 26日 政府研究所のイスラエル生物科学研究所が開発する新型コロナウイルス・ワクチン Brilfe の人への治験第 I 相が終了。
- 29日 イスラエル財務省提出の 2021 年予算案によれば、同省は同年 5%成長を見込む。
- 29日 米国-イスラエルの投資企業 Arieli Capital が来年実施するトラベルテックのアクセラレーション・プログラムに、UAE のエティハド航空がスポンサーとして参加。
- 30日 空気から水を抽出する技術を有するイスラエル企業 Watergen 社が、UAE の農業企業 Al Dahra 社と提携。Watergen 社が UAE やその他の地域に技術を提供する。
- 30日 テルアビブの大病院 Ichilov 病院が、スタートアップが同病院の医療スタッフお協業できるセンターを開設。投資ファンドの MIXER と inVITA も入居。

主要経済指標

1. 経済成長率（GDP）

● 2020年第3四半期の成長率は年率37.9%（一次推計）

中央統計局は、2020年第3四半期の成長率（一次推計）が年率37.9%だったと発表した。第1四半期の年率マイナス7%、第2四半期の年率マイナス29.8%から大幅な回復。しかしながら、第3四半期（7～9月）は、9月半ばからの2度目のロックダウンの影響は軽微と考えられる。

ほとんどの分野で回復がみられたものの、サービス輸入や機械装置への投資は減少が見られる。

出典：イスラエル中央統計局 (https://www.cbs.gov.il/he/mediarelease/DocLib/2020/365/08_20_365b.pdf)

報道 Globes (<https://en.globes.co.il/en/article-israels-gdp-up-annualized-38-in-third-quarter-1001349581>)

2. 貿易（EXPORT & IMPORT OF GOODS）

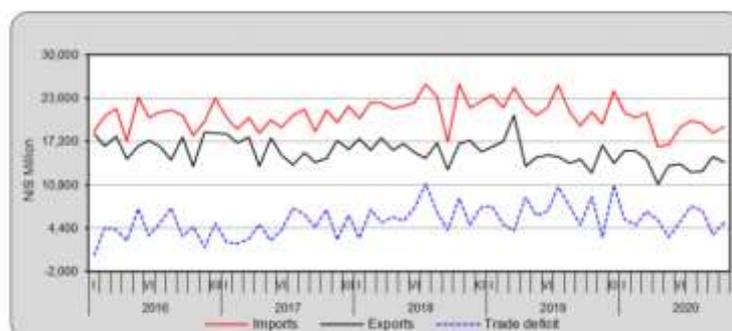
● 10月の貿易赤字は53億NIS

中央統計局の発表によれば、2020年10月の物品輸入は195億NIS、物品輸出は141億NISであり、貿易赤字は53億NISであった。

物品輸入の48%は原材料（ダイヤ、燃料除く）であり、24%が消費財、16%が機械装置、陸上輸送機だった。残り12%はダイヤ、燃料、船舶、航空機である。物品（船舶、航空機、ダイヤ、燃料除く）の輸入は直近3カ月で年率14.9%増加。

鉱工業製品の輸出が全体の88%を占め、11%がダイヤモンド、残り1%が農林水産品。物品（船舶、航空機、ダイヤ、燃料除く）の輸出は直近3カ月で年率11.9%増加。工業製品輸出のうち38%を占めるハイテク製品輸出は、直近3カ月で年率12.8%増加。

Diagram 1 - Imports, Exports and Trade Deficit in Goods (original data)



(※ — : 輸入, — : 輸出, - - - : 貿易赤字)

出典：イスラエル中央統計局 (https://www.cbs.gov.il/he/mediarelease/DocLib/2020/359/16_20_359e.pdf)

3. 失業率（UNEMPLOYMENT RATE）

- 10月の失業率は4.9%前月比微増。一方で、新型コロナ関連の休職者は急増。

中央統計局は、2020年10月の失業率は4.9%であり、前月比0.2%増だったと発表。その他、新型コロナウイルス等に関連した労働関係のデータは以下のとおり。

	2020年9月	2020年10月
失業者（率）	191,600人 (4.7%)	199,400人 (4.9%)
新型コロナウイルス関連で一時的に全く仕事をしていない被用者+失業者数（率）	504,900人 (12.4%)	742,100人 (18.2%)
3月以降解雇又は職場の閉鎖により労働をやめて労働人口にカウントされない人+新型コロナウイルス関連で一時的に全く仕事をしていない被用者+失業者数（率）	589,900人 (14.2%)	845,500人 (20.3%)
3月以降解雇又は職場の閉鎖により労働をやめて労働人口にカウントされない人+他の理由により労働をやめてしまった又は過去に働いておらず現在働くことに関心はあるが新型コロナウイルスのせいで求職活動をしておらず労働人口にカウントされない人+新型コロナウイルス関連で一時的に全く仕事をしていない被用者+失業者数（率）	605,700人 (14.5%)	871,600人 (20.8%)

出典：イスラエル中央統計局 (https://www.cbs.gov.il/he/mediarelease/DocLib/2020/375/20_20_375e.pdf)

4. 消費者物価指数（CPI）

- 10月期のCPIは0.3%増

中央統計局の発表によれば、2020年10月期の消費者物価指数は前月比0.3%増。

特に価格上昇が著しかったのは、被服・履物（3.6%高）、生果物・野菜（3.2%高）。文化・娯楽（2.1%低）、被服（0.9%低）、食品（0.7%低）。

過去12か月間では0.8%下落、年初からだとも0.4%下落で、イスラエル中央銀行が年間のターゲットレンジとしている1%～3%を大きく下回る。

中央統計局は、8-9月期の住宅価格指数も公表。7-8月期に比べて0.2%下落した。前年同期比では2.4%上昇している。

出典：イスラエル中央統計局 (https://www.cbs.gov.il/he/mediarelease/Madad/DocLib/2020/364/10_20_364e.pdf)

(https://www.cbs.gov.il/he/mediarelease/Madad/DocLib/2020/363/10_20_363e.pdf)

5. 政策金利 (INTEREST RATE)

● 中銀、政策金利を 0.1%で維持

11月30日、イスラエル中央銀行政策決定会合は、政策金利を0.1%のまま維持することを決定。中銀による声明の要旨は以下のとおり。

経済は2度目のロックダウン（経済封鎖）からの長い出口プロセスにあるが、罹患率の明らかな上昇に鑑みるとロックダウンからの脱出が続くかどうかに関しては不確実性がある。ワクチン開発に関する外国からのニュースはポジティブなものだが、同時に、イスラエル及び外国にワクチンがいつ配賦されるのかは不明確である。それまでの間、罹患率は経済活動に影響を与え続けると見込まれる。

2度目のロックダウンの経済への悪影響は1度目のロックダウンよりは深刻ではなかったが、2度目のロックダウンからの脱却はより遅く、活動への悪影響には産業分野ごとにばらつきがある。新型コロナウイルスに関する制限に適応できている企業もあれば、観光、レストラン、教育、レジャー産業のような分野はより制限が厳しく、危機前の活動水準を回復できていない。

2度目のロックダウン前は、広義の失業率を急増させ、9月前半に約11%だったのが10月前半には約23%に達した。ロックダウン緩和の開始に伴い、広義の失業率は約18%に低下した。

物価上昇環境は引き続き低い。CPIは10月に0.3%上昇し、過去12か月間の物価上昇率は-0.8%（エネルギーと野菜・果物を除くと-0.4%）である。あらゆるソースから、来年の物価上昇率はターゲット幅の下限を引き続き下回ると予測されるが、資本市場の予測は改善している。再来年はターゲット幅に戻ってくると予測され、長期予測はターゲット幅内に留まると見込まれる。

ここ数か月、実効為替レートは比較的変動が少ないが、前回の政策決定会合から、シェケルは実行為替レートで約1%高、米ドルに対しては世界的な大幅なドル安もあって約1.7%高となった。シェケル高が続くと、輸出に悪影響があるかもしれない、物価上昇環境は更なる減速が見込まれる。

中央銀行と財務省の様々な措置の効果もあり、与信市場は安定した金利で機能を続けている。事業傾向調査によると、中規模から大企業は融資を受けやすくなったが、小規模企業は銀行融資を受けることが難しいと引き続き感じている。

第3四半期の世界経済は回復しており、ほとんどの国で高いGDP成長を記録した。しかしながら、罹患状況が改めて広がっていることから、第4四半期には世界的に成長が鈍化することが予想される。世界の貿易は危機の始まりに急激に減少したが、その後回復している。主要国の中央銀行は、長期にわたって緩和策を維持することをコミットすると強調しており、各国政府は財政拡大的な支援策を採用し続けている。

新型コロナウイルスのワクチン試験のポジティブな結果によって、来年には経済成長の軌道に早期に復帰できるのではないかと楽観論が広がっている。しかしながら、経済、特に労働市場に対する危機の負の影響は続く見込まれるため、政策決定会合は、金融政策の緩和幅を拡大し金融市場の秩序ある機能を引き続き維持するために、幅広い手段を活用し続ける。政策決定会合は、金融政策の目標を達成し危機の結果創出された経済への負の影響を中和するために必要であると評価できるまでは、政策金利を含む既存の手段の活用を拡大するとともに、追加的措置を実行に移すことができるようにする。

政策金利の見直しは年10回で、次回公表日は2021年1月4日。

6. 為替 (EXCHANGE RATE)

● 10月の為替相場は再び歴史的シケル高に

11月の為替相場は、月初こそ心理的閾値となる1ドル3.40シケルを上回るシケル安気配を見せたが、米国大統領選挙の結果や新型コロナウイルスのワクチン開発成功を受け、イスラエルの機関投資家がシケルを買い戻したことで、以降は1ドル3.40シケルを下回るシケル高で進行。9日には2008年6月以来のシケル高となった。

その後もさらにシケル高が進行したものの、中央銀行は現在のシケル高は自然な水準と評価し、輸出支援のための積極的介入は行わなかったが、一時的に1ドル3.30シケルを割り込むと介入が行われた模様。



出典：報道・グローブス紙 (<http://www.globes.co.il/en/market.tag>)

グラフ出典：中央銀行・11月のドルシケル相場推移 (<https://www.boi.org.il/en/Markets/ExchangeRates/Pages/Chart.aspx?CurrencyId=3&DateStart=02%2F11%2F2020&DateEnd=30%2F11%2F2020>)

7. 外貨準備高 (FOREIGN RESERVE)

● 10月末の外貨準備高は1,608億ドル。引き続き歴史的水準。

中央銀行による発表によれば、10月末時点の外貨準備高は、前月比1.7億ドル増となる1,608億ドルであった。GDPの40.4%を占める。

増加の要因は、中央銀行による外貨購入(5.31億ドル)、政府移転(6.24億ドル)。一方、評価替(8.23億ドル)、民間移転(1.67億ドル)による一部減少も見られた。

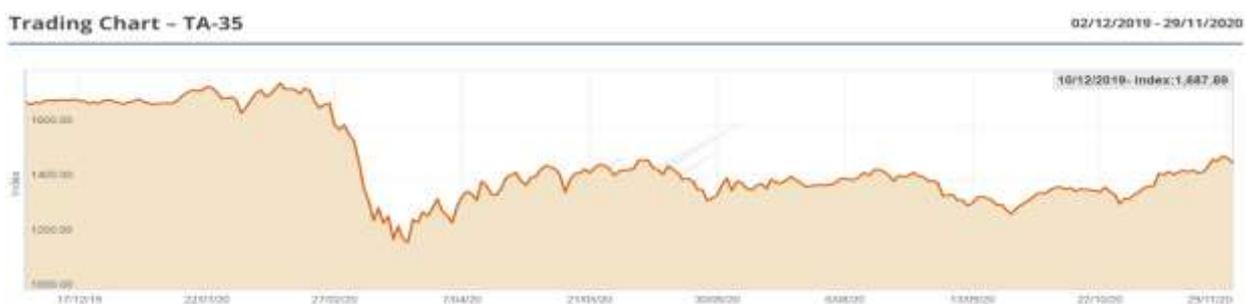
出典：イスラエル中央銀行 (<https://www.boi.org.il/en/NewsAndPublications/PressReleases/Pages/05-11-20.aspx>)

8. 主要株価推移 (TA35)

● 月間推移



● 年間推移



● 11月のテルアビブ証券取引所 (TASE) 関連ニュース

9日, TASEはTA-125 Fossil-Fuel-Free Climate Indexを創設。TA-125インデックス構成企業から石油燃料の生産に携わる企業を除いた企業で構成される。

出典: テルアビブ証券取引所 (<https://www.tase.co.il/en>)

イスラエル経済関係記事

ハイテク コロナ禍にもかかわらず、イスラエルのプログラマーの平均給与は1万ドルに近づく

未曾有の経済危機・雇用危機のさなか、イスラエルのハイテク産業のいくつかのポジションでは、2020年第2～3四半期で需要が強くなり、それに伴って給与も増加している。

転職エージェント see.V 社が集めたデータによると、ソフトウェア専門職の平均月給は、第1四半期と比較して、過去2四半期で5%以上増加し、30,000万NIS（8,900ドル）を超えた。前年同期のプログラマーの平均月給はそれより2,000NIS低かったため、新型コロナウイルス禍にもかかわらず12か月で7%増加したことになる。DevOpsプログラマーの給与は昨年来14%増の34,000NIS（10,900ドル）となり、アルゴリズムプログラマーは昨年来12%増の34,600NISを稼いでいる。JavaプログラマーとC++開発者の平均給与はわずかに下落し、それぞれ28,500NISと30,700NISとなった。

see.V社のRonen Engler CEOは説明する。「これらの数字を見ると、テクノロジー職のマーケットに新型コロナウイルスは影響すらしていないように思えるが、明らかにそうではない。ソフトウェア開発者への需要は引き続き非常に強く、その結果給与も増加している。しかしながら、我々の分析によれば、企業が採用している従業員のプロフィールには変化が見られる。例えば、パンデミックの間に行われた全採用を分析すると、5年以上の経験を有する経験豊富な開発者の採用が10%増えていることがわかる。これらのポジションの平均給与が増加し続けている理由の一部は、これで説明できる。さらに、いたるところでバーチャル活動への動きが見られることから、ソフトウェア専門職の一部（DevOpsプログラマーとアルゴリズムプログラマー）への需要は以前よりも増えており、そうした仕事の平均給与が大きく増加している。」

危機の始まり以降新規採用を中止していた企業がマーケットに戻ってきているものの、仕事の供給量は危機前の75%程度で、まだ回復はしていない。それでもなお、特定のポジションでは、候補者の数を上回る募集がある。see.V社によると、積極的に求職している者の数は5%増加しており、一方積極的に求職はしていないものの可能性のあるオファーは聞きたいという消極的求職者は数十%減少している。

テクノロジー産業が受けているダメージは他の産業に比べてかなり小さいものの、被用者の自信は吹き飛んでしまっている。調査対象者の約43%は、所属企業が財政的に安定しているにもかかわらず雇用維持に懸念があると回答しており、6%は企業が危機を乗り越えることができないかもしれないので職を失う深刻なおそれがあると述べている。

Engler氏は述べる。「被用者は職場の財政的安定性について懸念するようになっており、その懸念は新しい職場についてより大きい。我々は、求職者が以前に比べて給与や条件面で妥協しやすくなっているのを目にしている。2020年第1四半期には、70%超の求職者が期待どおり又はそれを越えるオファーを受けていたが、いまやそんなことはない。職場選びにおける優先順位は大きく変わった。今では、開発する技術がどれほど面白いものでも、アーリーステージのスタートアップより大手有名企業を選ぶ。リスクを取ろうとする姿勢は減退し、従業員200人以上の企業の被用者数は10%増加しているのである」

出典：報道 CTech by Calcalist

<https://www.calcalistech.com/ctech/articles/0,7340,L-3872490,00.html>

日イスラエル経済関係記事

ベンチャー投資 オリックスがイスラエルの大手 VC OurCrowd に投資、第二位株主に

オリックスは、欧州の現地法人 ORIX Corporation Europe N.V.を通じて、イスラエルの大手ベンチャーキャピタル OurCrowd International General Partner 社に 6,000 万米ドルを出資（本件出資後持分約 10%）する。今後、規制当局の承認等を経て、2021 年 3 月までに取得を完了し、オリックスは OurCrowd の創業者に次ぐ持ち分比率で第 2 位の出資者となる。

OurCrowd は、2013 年にイスラエルで創業されたベンチャーキャピタル（以下「VC」）である。イスラエルは、人口当たりのスタートアップ企業の創業数が世界一※¹と世界有数のベンチャー投資マーケットであり、世界中の企業や投資家から高い注目を集めている。OurCrowd はテクノロジー系スタートアップ企業への投資に強みを有しており、欧米やアジアなど世界 11 カ国において、デジタルヘルスやフィンテック、モビリティ、農業など、多岐に亘る分野のテック系企業に投資を行い、イスラエルを拠点とする VC において、第 1 位※²の投資件数の実績を誇っている。

OurCrowd が運営するファンドは、自己資金を出資しながら、オンラインプラットフォームを利用したクラウドファンディング型の資金調達を行い、投資先や案件ごとに投資家を募る点が特徴である。そのため投資家にとって投資先の銘柄や投資金額を案件ごとに決定できるため、機関投資家のほか富裕層の個人資産管理会社など、すそ野の広い投資家ネットワークを獲得している。他にもデジタルヘルスやモビリティなどのテーマ型ファンドや、イスラエルイノベーション庁と連携した次世代育成ファンドの組成・運営も行っており、現在約 1,500 億円の投資家からのコミットメントをもとに、220 社の企業および 22 ファンドへの投資を行っている。

オリックスは、OurCrowd のアジアでの投資家および投資先開拓をサポートし事業拡大に貢献する一方で、OurCrowd が持つ優良ベンチャー企業へのアクセスおよび VC 運営ノウハウを得ることで、今後海外ベンチャーに対する OurCrowd との共同投資を検討していく。

オリックスは、今後も成長が見込める分野への投資を積極的に行い、グローバルマーケットでの事業拡大を目指していく。

※1 Innovation in Israel Situation Report(2019)

※2 PitchBook 社調べ

出典：プレスリリース

(https://www.orix.co.jp/grp/company/newsroom/newsrelease/201120_ORIXJ.html)

インシュアテック 三井住友海上が Direct Insurance – Financial

Investments 社に投資、共同ラボを設置

MS & ADインシュアランスグループの三井住友海上火災保険は、イスラエルのオンライン/ダイレクト専門損害保険を中核事業とする持株会社、Direct Insurance -Financial Investments 社へ出資し、傘下の保険会社 I.D.I Insurance Company 社（以下「IDI 社」）内に共同ラボを設置することに合意した。

IDI 社は、イスラエルのスタートアップと緊密に協業しており、先進デジタル技術を用いた多様なオンライン保険商品・サービスを開発・提供している、イスラエル国内における業界第 1 位のダイレクト損害保険事業者である。

本出資を通じて、イスラエルのスタートアップを中心としたイノベーションのエコシステムを活用し、先進デジタル技術の取り込みやオンライン/ダイレクト事業のノウハウを取得し、非対面募集の強化等、顧客サービスのさらなる向上につなげていく。

三井住友海上火災保険は、顧客体験価値と業務生産性の向上に向けて、デジタルイノベーションのグローバル展開に取り組んでいる。イスラエルは世界におけるデジタルイノベーションの中心地のひとつであり、IDI 社はイスラエルにおいて、外部から先進的な技術を効率的に取り込むことで、オンラインとオフラインを融合させた、UI/UX に優れる保険のダイレクト募集の仕組みを構築し、柔軟に顧客ニーズを取り込むことで市場から高い評価を得ている。

そのため、IDI 社の持つ最先端のデジタル保険販売技術を活用することで、顧客と代理店との非対面募集における、より良い体験価値の提供を目指して、本出資にいたった。

また、共同ラボを通じて、先進デジタル技術の実証実験を効果的に行い、そこで得られる技術やノウハウを国内外の事業に展開していく。これにより、イスラエルのスタートアップとの協業機会を増やすことが可能となり、サイバーセキュリティやモビリティサービス、保険金支払い等、さまざまな領域で新技術の発掘と取り込みを機動的に行える態勢を実現する。

出典：プレスリリース

(https://www.ms-ins.com/news/fy2020/pdf/1118_1.pdf)

技術探索 イスラエル・スタートアップとの連携に向け、NTT データと SOMPO が連携

日本のテクノロジー企業大手 NTT データと保険企業 SOMPO が、イスラエル・スタートアップとの連携の意図を表明した。2018 年からイスラエルに拠点を有する SOMPO が、量子暗号、セキュア・コンピューテーション、IoT センサーデバイス、映像コンテンツ分析でのパートナーシップを探す NTT データを「スタートアップ・ネーション」に案内する。

SOMPO Digital Lab Tel Aviv 所長の Yinnon Dolev 氏は述べる。「NTT データと当社との連携は、成長するテクノロジー企業とジョイント・ベンチャーを設立することで新領域に参入し事業拡大を図る両社による戦略的な動きの一環である。この連携を通じ、世界中の何百万という顧客に提供するサービスの改善を図ることができると信じている。」

今回の連携は、10 月に開催されたバーチャルイベントで公式に発表された。両社は、長期的な戦略的パートナーシップ構築と将来的な資本投資を視野に、PoC（概念実証）を実施するイスラエル企業からの提案を募集している。

2018 年の拠点開設以来、SOMPO はイスラエル・スタートアップに 2,000 万ドル以上を投資しており、Intuition Robotics 社、Nexar 社、Guardian 社、Sensifree 社、Binah.ai 社のように、多数の企業と協力関係を築いている。NTT データを仲間に迎え、SOMPO Digital Lab Tel Aviv はフィンテックやアグリテック、サイバー、そして新型コロナウイルスで需要が高まっている医療技術とヘルスケアに関連するテクノロジーを探索する。

NTT データは 1988 年創業で、時価総額 186 億ドルの東京証券取引所上場企業。SOMPO ホールディングスは 2001 年設立で、日本の保険最大手の 1 社とみなされており、従業員 440 名で時価総額 148 億ドル。

イスラエル・スタートアップからの提案募集中で、12 月 12 日が提案締め切り。

出典：報道 CTech by Calcalist

(<https://www.calcalistech.com/ctech/articles/0,7340,L-3873179,00.html>)

東京にあるサンリオピューロランドは、イスラエルの Binah.ai 社が開発したテクノロジーの助けを少し借りて、コロナ禍の中でも開園を維持している。

テルアビブに拠点を置く Binah 社の主事業は、顔認識ソフトウェアを用いた映像ベースの健康モニタリングシステムであり、新型コロナウイルス蔓延前から開発を開始していた。しかし、新型コロナウイルス蔓延にあわせ、世界が平常に戻るための新たなソリューションを探す中、他の多くの医療ソフトウェア企業やテクノロジースタートアップと同じように、同社も新型コロナウイルスの拡大防止のために同社技術を活用するべく開発変更の舵を切った。

SOMPO Digital Lab Tel Aviv 所長の Yinnon Dolev 氏は述べる。「世界中で新形コロナウイルスが蔓延したことで、ウイルスとの接触を避けるために、非接触診断技術への需要が急激に拡大した。」 SOMPO は、パンデミックの中で、労働者の健康状態をモニタリングすることで、職場、ショッピングモール、そしてテーマパークへの入場をフィルタリングしようと、日本のレジャー・娯楽産業で Binah 社の技術を活用する方向だ。

SOMPO は、Binah 社の Health Checker と名付けられた技術を用いたアプリケーションを開発した。これにより、スマートフォンで撮影された写真を用いてバイタルサインをチェックできる。Binah 社は、人工知能と信号処理、マシーンビジョンを用いて、既存のカメラをバイタルサインのモニタリングツールとする技術を昨年開発している。同社のソリューションでは、心拍数を 7 秒以内に、酸素飽和度を 10 秒以内に、呼吸数を 30 秒以内に、心拍変動を 45 秒以内に検知できる。90 秒以内には、心的ストレスレベルも評価することができる。同社の説明によれば、この技術はシンプルで長年にわたって確立された光学技術であるフォトプレチシスモグラフィに基づいており、これは血流を測定するためのパルスオキシメーターや「指を挟む」器具でよく用いられているものである。体内組織に光線を照射する代わりに、同社の技術は頬からカメラに反射する光を分析する。

このシステムは既にサンリオピューロランドで実用されている。同園は新型コロナウイルス蔓延初期の 2 月から閉園していたが、7 月には再び開園した。現在、ソフトウェアは従業員の毎日の健康チェックのために用いられている。SOMPO は用途を来園者向けにも拡大できればと考えており、さらに他のテーマパークやスタジアム等日本中に展開したい意向だ。

出典：報道 The Jerusalem Post

(<https://www.jpost.com/israel-news/tokyos-hello-kitty-land-employs-use-of-israeli-technology-to-remain-open-649779>)

小売 セブン-イレブンがイスラエル進出の可能性

Channel 12 のニュースが報じたところによると、コンビニエンスストア大手のセブン-イレブンがイスラエルに進出する交渉をイスラエル国内企業と進めている。報道によれば、イスラエルのファッション企業 Fox 社と家電メーカー Electra Consumer Products 社がセブンイレブン開店のために協働しており、近々テルアビブ証券取引所に報告するかもしれないという。

Electra 社が、セブン-イレブンのブランド名で店舗を運営する会社を設立するための非拘束的な覚書 (MoU) に署名するために取り組んでいる。「非拘束的な MoU に署名した後、その内容にもよるが、関係者はより詳細な拘束的フランチャイズ契約を、受入れ可能な範囲で結ぶ交渉に入るだろう」と Electra 社は報道で述べている。

Electra 社と Fox 社は、まだ何も決まっておらず、フランチャイズ契約は結ばれないかもしれないと強調している。Electra 社によると、どのような契約も条件次第で、それは同社がコントロールできないものだという。

Fox 社はあり得べき取引についてより慎重に応答している。「当社の戦略の一環として、当社の活動の拡大と多様化、そして様々な組織との連携の機会を定期的に検討している。もし進展があれば、法令に則って再度報告する」

計画によれば、2021 年半ばに初号店を開店させ、今後数年以内に約 250 店舗を開店させるという。計画が実現すれば、両社は 50% 対 50% の合併企業を設立する見込み。両社にとって食品小売業界への参入は初となる。これまでもセブン-イレブンをイスラエルに持ってくる試みはあったが、今回の計画は成功の見込みが高いと見られる。

セブンイレブンは 1927 年にテキサスで創業され、現在はセブン-イレブン・ジャパンの完全子会社となっている。世界 17 か国で運営されている。

今回の計画が実現すれば、今年初めに 4 度目のイスラエル進出を果たしたケンタッキーフライドチキンに次ぐ大手参入となる。

出典：報道 The Jerusalem Post、Globes、The Time of Israel

(<https://www.jpost.com/israel-news/oh-thank-heaven-7-eleven-may-be-headed-to-the-holy-land-649338>)

(<https://en.globes.co.il/en/article-7-eleven-coming-to-israel-1001349846>)

(<https://www.timesofisrael.com/slurpee-time-7-eleven-said-coming-to-israel/>)

新事業創出 イグニション・ポイントが AnD Ventures と連携

新規事業創出、企業のイノベーションを支援するイグニション・ポイントは、イスラエルに拠点を置くアクセラレータで VC ファンドを運用する AnD Ventures へコーポレートパートナーとして参画した。

イグニション・ポイントでは、これまで新規事業の創出やスタートアップとの共創、支援を実施してきた。近年、日系企業の海外スタートアップとの連携や、海外スタートアップの日本市場進出に関する要望が増えてきている。イスラエルは対 GDP 比率ベンチャーキャピタル投資が世界一位であるなど、テクノロジーとスタートアップエコシステムとして世界的に有名であり、近年、日系企業との連携が増えてきている。

このような背景を受けて、イグニション・ポイントではイスラエルに拠点を置くアクセラレータ/VC である AnD Ventures と戦略的な関係性を築くことで、この流れを加速していく。AnD はスタートアップ投資やコーポレートアクセラレータの分野で世界的な実績のあるメンバーによって設立された。イグニション・ポイントでは、AnD のもつ新規事業やイノベーションに関するノウハウを活かしつつ、日本-イスラエルにとどまらず、グローバル案件の創出、支援をしていく。

出典：プレスリリース

(<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000050.000012744.html>)

イスラエルにおける展示会・国際会議等の予定

※イベント会議の詳細情報については各イベント事務局のウェブサイトを御覧ください。

※新型コロナウイルスの影響により、今後、開催中止・規模縮小・オンライン開催への変更が実施されるイベントも予想されますので、参加の検討に当たっては、各イベントのウェブサイト等をご確認ください。

※イスラエル政府は、世界各国・地域を罹患率の低い「グリーン国」と罹患率の高い「レッド国」に分けているところ、10月15日、日本を従来の「レッド国」から「グリーン国」に指定替えしました。これに伴い、日本からイスラエル到着後の14日間の隔離義務は原則として課されません。また、イスラエル政府は、日本を含む「グリーン国」から渡航するビジネス関係者については、イスラエル入国の要望を条件付きで特別に受け付けることを開始しました。詳しくは、こちらをご覧ください
(https://www.israel.emb-japan.go.jp/itpr_ja/jp20201026.html)。

※イスラエルへの来訪計画を立てるに当たっては、当館ウェブページ・イスラエル保健省ウェブページ等、最新情報をご確認ください。

当館 HP 関連情報 https://www.israel.emb-japan.go.jp/itpr_ja/anzen_jouhou.html

イスラエル保健省関連情報 <https://govextra.gov.il/ministry-of->

[health/corona/corona-virus-en/](https://govextra.gov.il/ministry-of-health/corona/corona-virus-en/)

※日本からお越しになる方には、現地情勢のブリーフィング等、各種サポートをさせていただきますので、御連絡ください。ぜひ大使館にもお立ち寄りください。

UX UX SALON 2020 (2020 年秋, テルアビブ)

UX デザイナーによるコミュニティである UX Salon の年次イベント。ネットワーキングと講演を目的とする。

<http://2020.uxsalon.com/>

NEW 観光 IMTM2021 - 27TH INTERNATIONAL

MEDITERRANEAN TOURISM MARKET (2021 年 2 月 9~10 日、テルアビブ)

イスラエル最大の観光博。昨年は世界 57 か国が展示を行い、約 27,000 人が参加。

<https://www.imtm-telaviv.com/>

スタートアップ 2021 OURCROWD GLOBAL INVESTOR SUMMIT

(2021年3月9日, エルサレム)

エルサレムのクラウドファンディング型 VC である OurCrowd による年次イベント。OurCrowd の投資先を中心としたスタートアップと投資家が一堂に会する大規模なイベント。2020 年は 186 か国から 23,000 人の登録があったとされる。

<https://summit.ourcrowd.com/>

技術移転 ITTN - THE 6TH BIENNIAL CONFERENCE OF ISRAEL'S TECHNOLOGY TRANSFER ORGANIZATION (2021 年3月15日, テルアビブ)

イスラエルの主要大学・研究機関の技術移転機関からなる Israel Tech Transfer Network (ITTN) による隔年のカンファレンス。

<https://www.stier.co.il/ittn/>

医療機器 THE 2ND MEDICAL DEVICE RESEARCH & DEVELOPMENT SUMMIT (2021年3月15日, テルアビブ)

医療機器 (ハードウェア及びソフトウェア) に特化したカンファレンス。今回は、最先端の R&D の方法論やツールを特集。

<https://www.stier.co.il/mdr-d/>

NEW 化学 ISRACHEM (2021年3月26~27日, テルアビブ)

化学、石油化学、石油精製、製薬、バイオテクノロジー、食品、洗剤、化粧品、エコロジー、鉱物、肥料、雑草・害虫駆除、塗料、添加物産業のための技術・器具・サービスの展示会。今回 17 回目の開催。

<https://www.stier.co.il/israchem/en/>

医療 MEDICINE 2041 (2021年4月7~8日, テルアビブ)

未来の医療を考える国際カンファレンス。ノーベル化学賞受賞者など一線の研究者によるセミナー等が予定されている。テルアビブの大病院 Sourasky Medical Center 等が主催。2度目の開催。

<https://thefuturehealthcare.com/>

NEW **サイバーセキュリティ** CYBERTECH GLOBAL IN DUBAI (2021年4月5~7日, ドバイ)

サイバーセキュリティの国際会議、展示会。米国以外で行われるものとしては世界最大級。産業界、政府政策決定者、技術専門家等が世界から訪れる。ネットワーキング機会の提供も行っており、B2B ミーティング機会も提供される。

世界各地で実施される CyberTech の旗艦イベントであり、例年テルアビブで実施されるが、今回はドバイで実施される。

<https://cybertechconference.com/>

NEW **実験器具** ANALIZA (2021年4月26~27日, テルアビブ)

産業用実験施設向けの技術・器具等の展示会。重工業や製薬産業向けの実験施設向けの器具・測定機器、クリーンルーム、ドラフトチャンバーやフィルターを扱う。

<https://www.stier.co.il/analiza/en/>

バイオ MIXIII BIOMED (2021年5月11~13日, テルアビブ)

ヘルスケアやライフサイエンスの将来について議論する国際会議・展示会。今年は長寿命の中での QOL をテーマに、医療機器、バイオファーマ、デジタルヘルス、診断分野にフォーカスする。

<https://kenes-exhibitions.com/biomed/>

開催時期決定! **エレクトロニクス** NEW TECH EXHIBITION (2021年5月25~26日, テルアビブ)

ハイテク分野に関する大規模展示会で、150社以上が展示、数千人の来場者を見込む。対象分野は、クリーンルーム装置、電子光学品、レーザー、光ファイバー、レンズ、カメラ、試験用機器、プリント基板、筐体、電子機械器具、周辺機器、組込みシステム、モーター、ロボティクス、通信機器等。

<https://www.new-techevents.com/new-tech-exhibition/>

開催時期決定！ **インダストリー- 4.0** **INDUSTRY 4.0 – SMART FACTORY**
(2021年5月25日, テルアビブ)

上記 New Tech 2020 Exhibition のサイドイベントとして開催される、インダストリー4.0・スマート工場関連に特化したイベント。IoT, 自動化・ロボティクス, M2M, AI, サイバーシステム, クラウド等を対象とする。

<https://www.new-techevents.com/industry-4-o-smart-factory/>

開催時期決定！ **光学** **OPTO TECH 2021** (2021年5月25～26日,
テルアビブ)

上記 New Tech 2020 Exhibition のサイドイベントとして開催される、電子光学品に特化したイベント。

<https://www.new-techevents.com/opto-tech/>

電機 **RAX** (2021年6月15～17日, テルアビブ)

電気製品, 制御系, 計装, 自動化, 空気圧工学, 照明システム, エネルギー・省エネに関する展示会。今回が26回目の開催となる。

<https://www.stier.co.il/rax/en/>

モバイル **ISRAEL MOBILE SUMMIT 2021** (2021年6月24日,
テルアビブ)

モバイルアプリ, ゲーム, アドテックに関する国際イベント。カンファレンスの他に, スタートアップコンテストも開催され, 希望者には1対1ミーティングもセッティングされる。

<https://www.israelmobilesummit.com/>

ナノテク **NANO.IL.2021** (2021年10月4～6日, エルサレム)

ナノテクに関する国際カンファレンス・展示会。マテリアル, エレクトロニクス, 光学, 医療, 防衛, 航空, 半導体等の分野を対象に, 企業, 投資家, 大学等からの参加者を想定している。2021年は「3D Meets NANO」という特別シンポジウムも開催される。

<https://www.nanoilconf.com/>

NEW **空調** **ACLIMA** (2021年11月2~4日, テルアビブ)

空調・冷蔵・暖房・換気システムに関する展示会。今回25回目の開催。

<https://www.stier.co.il/aclima/en/>

NEW **食品** **ISRAFOOD** (2021年11月16~18日, テルアビブ)

イスラエルの食品・飲料に関する展示会。メーカーや輸入業者、小売事業者等を対象とする。今回37回目の開催。

<https://www.stier.co.il/israfood/en/>

NEW **ホテル** **HOTEX-KITEX** (2021年11月16~18日, テルアビブ)

ホテルやレストラン産業の器具・サービス・技術に関する展示会。今回37回目の開催。

<https://www.stier.co.il/hotex/en/>

モビリティ **SMART MOBILITY SUMMIT 2021** (2021年(日付未定))

イスラエル首相府が先導する「燃料選択及びスマート・モビリティ・イニシアチブ」により進められているイベント。今回で8回目を迎える。イスラエルの交通関連スタートアップの展示やセミナーが開催予定。

<http://www.fuelchoicessummit.com/>

デジタルヘルス **DIGITAL HEALTH.IL** (時期未定)

デジタルヘルスに関するカンファレンス。スタートアップのコンテストも開催される。EY, ARC (シエバメディカルセンターイノベーションセンター), Israel Advanced Technology Industries が主催。過去5年では、毎回700名以上の参加者があった。

<https://digitalhealth-il.com/>

イノベーション LAHAV EXECUTIVE EDUCATION（通年，テルアビブ等）

テルアビブ大学のビジネススクール Lahav Executive Education Coller School of Management が実施するイノベーションを学ぶツアー。概ね1週間のプログラムで、個別のニーズに応じたイノベーションツアーを実施。

<https://www.lahav.ac.il/en/home>

日本におけるイスラエル関連イベントの今後の予定

※イベント会議の詳細情報については、各イベント事務局のウェブサイトを御覧ください。

サイバーセキュリティ **CYBERTECHLIVE TOKYO 2020** (2020年12月15日、オンライン)

政府や業界の専門家、大手企業から新興企業が一堂に会する、日本のサイバーセキュリティエコシステムとグローバルサイバー業界向けのデジタルイベント。イスラエル発で世界各地で開催されている CyberTech の日本版イベント。

<https://tokyo.cybertechconference.com/>